

三郷 議会だより

Sango

第233号

令和元年8月1日発行

編集 奈良県生駒郡 三郷町議会／広報編集委員会・議会事務局
電話 (0745) 73-2101 (内線293) 直通 (0745) 43-7371

はみがきの日よー！

毎月11日は『人権を確かめあう日』です。

令和元年第2回(6月)

三郷町議会定例会

6月7日(金)~14日(金) 8日間

6月定例会では、専決処分の承認1件、条例改正や補正予算・契約締結などの議案7件、繰越計算書および寄附の報告が提出され、全て承認・可決しました。

主な議会の内容

議案第37号

三郷町介護保険条例の一部改正について

介護保険法の改正により、低所得者の第1号保険料軽減を実施します。第1段階から第3段階の方について、第1段階の方は保険料が現行の2万9,320円から2万4,430円に、第2段階の方は4万8,870円から4万720円に、第3段階の方は4万8,870円から4万7,240円に軽減されます。この軽減に伴う町負担分1,034万8,000円が、介護保険特別会計繰出金として一般会計補正予算(第1号)に計上されました。

議案第38号

平成30年度(繰)(仮称)ウェルネスパークしぎさん施設整備事業請負契約(地方創生拠点整備交付金事業)の締結について

信貴山のどか村園内から温泉が湧き出たことを受け、同園施設内の町有施設を有効活用し、温浴施設の整備などを行ないます。大温室を温浴施設に、サブ温室3棟のうち1棟を休憩室、残り2棟を新産業促進施設としてリノベーションするもので、施設整備に加え、整備後の運営も含めて公募型プロポーザル方式により受託事業者を募集し、3億8,940万8,000円で請負契約を締結するものです。

主な補正予算の内容

議案第34号

令和元年度三郷町一般会計補正予算(第1号)

当初予算に3,973万9,000円を追加し、補正後の予算総額は81億6,973万9,000円となりました。

プレミアム付商品券事業1,682万2,000円 増

消費増税に伴う低所得者・子育て世帯への影響を緩和し、地域における消費を喚起するため、子育て世帯700名、非課税世帯3,500人を対象に、一人あたり2万5,000円の商品券を2万円で販売します。

幼児教育無償化システム改修632万円 増

10月から実施される幼児教育無償化に伴うシステム改修費。

掲載しております一般質問は、通告書による質問に対して1回目の回答の要旨を掲載しています。

再質問やそれらに係る回答、また掲載以外の質問等については、会議録に詳しく掲載しております。

会議録は議会事務局、町立図書館において閲覧できますが、発行時期等詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

「三郷中学校新校舎」のPRを



ハード・ソフト面ともに充実した理想的な学び舎が完成した。住民誘致にも繋がるよう、町内外はもとより近畿一円にPRする工夫は。



三郷中学校新校舎

また、新聞やテレビ等のメディアを活用し積極的に発信することで、「教育するなら三郷町」「子育てするなら三郷町」というイメージをしっかりと幅広い地域に広め、住民誘致につなげていければと考えています。

A 三郷中学校新校舎は平成29年5月の着工から約2年の工期を経て平成31年3月に無事完成し、お披露目会にも二千名を超える方々にお越しいただき、お褒めの言葉をいただきました。外観のデザインや4層吹抜けのステツプホール、体育館のクールピットだけでなく、消防団屯所や福祉避難所を併設するなど、様々な特徴や機能を持つ施設で、これらの特徴を活かし、要件や趣旨に合うコンテンツ等があれば積極的に応募し、町内外はもとより広範囲にわたりPRできるよう努めてまいりたいと考えています。



食品ロス削減に向けての取り組みについて



食品ロス削減に向けての取り組み、未利用食品のフードバンク等への提供についての現状は。また、町民や事業者への普及啓発・周知方法は。

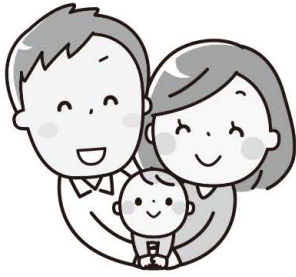
今後平成30年度から年4回発行しているごみ減量ニュースや広報、事業所への報告等で周知し、啓発を続けてまいります。住民・企業・行政がそれぞれの立場で取り組み、町が掲げる「SDGs環境未来都市宣言」の理念の実現に近づくと考えています。

町の防災用備蓄品としては保存水、クラッカー、ビスケット、アルファ化米があり、賞味期限間近のものを自主防災組織、町の防災訓練、学校等の防災教育に提供し、極力廃棄のないよう心がけています。現在フードバンク等に関する事業は実施していませんが、近隣を参考に検討してまいります。

食品ロス削減に向けての取り組みとして、給食センターでは調理の際の残菜や残食などを生ごみ処理機で分解し、液肥化しています。各学校・園では給食の残食量を記録し、献立作成に反映させ残食発生抑制につなげています。

A 町としても食品ロスは大きな社会問題と認識し、平成27年10月から町内の一部地域や事業所から生ごみの分別回収を行なっています。回収した生ゴミは液肥化し、信貴山地区に植栽する花や野菜の苗などの育成に役立てています。

三郷町における 子育て支援アプリの導入について



母子健康手帳を電子化したものが子育て支援アプリとして各社よりリリースされており、これらは予防接種のスケジュール管理や自治体からのお知らせを受け取ることもできる。三郷町でもこのようなアプリを導入し、子育て支援に役立てるべきだと考えるが。

A

母子手帳は、妊婦と保健師が面談をしながら、出産や子育てに関し身体の状態、家族のサポートの状況、不安や心配事がないかなどを伺うとともに、子育てに関するいろいろなサービスの情報提供などを説明しています。子育て支援アプリが、従来の母子手帳との併用であれば、提供する内容は多種多様となり便利で有益なツールになると考えています。現在、県内ではアプリの導入を実施している自治体は数か所となつていますが、増加傾向にあると認識しています。

本町はSDGsの理念である「誰一人取り残さない社会」を築くために取り組んでいるなか、ICTを活用した情報共有を図ることによる「世界に誇る人にもまちにもレジリエンスなスマートシティSANGO」の実現を目指しています。そのなかでも、地域内における情報の基盤構築として、独自の情報通信インフラ（地域BWA）を構築し、いろいろな分野での情報提供・共有に役立て、まちの課題の解消に向けた取り組みを計画しています。

このことから、子育て支援アプリについても、今後検討を重ねてまいります。

なら子育て応援団の 取り組みについて



妊婦及び18歳未満のお子さんがある世帯を対象として協賛店から割引や特典等のサービスが受けられる「なら子育て応援団」について、利用者の周知方法と協賛店の募集方法について、どのように考えているか。

A

「なら子育て応援団」は奈良県が子育て家庭を地域で応援し、支えていくための取り組みのひとつで、協賛店舗等で応援団のロゴマークの入った携帯画面や印刷したものを提示すると、子育て家庭にやさしい設備や付加的サービスの提供が受けられるものです。現在、県内では1727か所の協賛店があり、たとえば割引やプレゼント

ト等のサービスがあり、コンビニで乳児用ミルクのお湯の提供や、金融機関では教育ローンの金利の割引、定期預金の金利の上乗せ等も受けることができます。

三郷町でも薬局、衣服、旅館、レジャー、金融機関等11の企業や店舗が入団していただいております。母子健康手帳交付の際にチラシを配布し、お知らせしています。

今後も事業協力を得るため商工会等と協議を行い、協賛店の登録促進と、町のイベント開催時には住民へ一層の周知に努めてまいります。

令和元年第2回定例会 その他の一般質問

- ☆ 龍田古道日本遺産登録について
- ☆ 日本語が不自由な町民への対応について
- ☆ 事業系ごみの減量化対策について
- ☆ 西和医療センターは総合病院として継続・充実を
- ☆ 県道椿井・王寺線の拡幅工事について
- ☆ 里親制度の啓発を
- ☆ 新三郷町地域防災計画の自主防災組織等への周知は？
- ☆ 新焼却炉建設の進捗状況は？

総務建設 常任委員会

議案第38号

▶開会日
令和元年6月12日(水)
午前9時30分～

平成30年度(繰)(仮称)ウエルネスパークしぎさん施設整備事業請負契約(地方創生拠点整備交付金事業)の締結について

(全会一致原案可決)

Q DBO方式による発注とはどのようなものか。また、今回DBO方式を採用した理由は。

A DBO方式とは、設計から工事、後の運営維持管理まで一括して発注する方式です。従来の方式では設計、整備工事、運営維持管理を別々に発注していました。

今後、長期に渡り施設を運営していただくことになるため、運営会社が後の運営のことを考え「いかに集客があり、利用しやすく、効率のよい維持管理ができる施設にするのか」ということを設計、整備段階から携わることがDBO方式の一番のメリットであると考えます。ま

た、国の予算が繰り越しになっており今年度中に施設整備を完了させる必要がある中、民間の自由な発想の設計のもと整備に係る時間も短縮でき、運営の観点からもその発想が整備に活かされることから、従来の方式よりも民間の力を発揮してもらえDBO方式を採用しました。

付託案件以外の質問

Q 三郷駅から大正橋付近の大和川工事について。

A 神前橋付近が無堤防区間となっていたため、昨年度はその区間の築堤を行い、大和川からの溢水を防ぐ対策工事を実施しました。あわせて河川に堆積した土砂を掘削して処分する工事も実施しました。今年度は藤井地区(大正橋付近)の河道掘削を実施します。



Q 町男性職員の育児休業取得について。

A 平成27年9月議会で町長が「イクボス宣言」を行い、取得対象者は平成28年度3人、29年度3人、30年度5人となっていますが、取得率は0%です。町としても制度として整備をし、職員への周知も行なっていますが、最終的には家庭状況や収入状況もあり、職員自身の判断となります。女性の活躍の観点からも男性の育児休業の取得は必要であると考えており、引き続き、制度の周知や雰囲気醸成に努めてまいります。

文教厚生 常任委員会

▶開会日
令和元年6月10日(月)
午前9時30分～

議案第34号

令和元年度三郷町一般会計補正予算(第1号)

(賛成多数原案可決)

Q プレミアム付商品券事業について、2万5千円の商品券のうち5千円分がプレミアム分だが、プレミアム分の合計は。

A 対象者は4200人、プレミアム負担部分は一人あたり5000円で、合計2100万円です。

Q 幼児教育無償化の対象となる、認可外保育所、障害児支援等の詳細は。

A 無償化の対象となる町内の認可外保育所には、ハートランドしぎさん、西和医療センターの施設等があります。町内の方がどれだけおられるか、今後把握に努めていきます。同じく無償化される就学前の障害児の発達支援の対象者は、26人です。

今後、広報・ホームページ等で対象者に周知を図ってまいります。



令和元年第2回（6月）三郷町議会定例会

6月7日(金)～6月14日(金)

議案	審議結果	付託委員会
承認第5号 令和元年度三郷町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分について	全会一致原案承認	総務建設常任委員会
議案第34号 令和元年度三郷町一般会計補正予算(第1号)	賛成多数原案可決	総務建設常任委員会 文教厚生常任委員会
議案第35号 令和元年度三郷町介護保険特別会計補正予算(第1号)	全会一致原案可決	文教厚生常任委員会
議案第36号 三郷町職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について	全会一致原案可決	総務建設常任委員会
議案第37号 三郷町介護保険条例の一部改正について	全会一致原案可決	文教厚生常任委員会
議案第38号 平成30年度(繰)(仮称)ウェルネスパークしぎさん施設整備事業請負契約(地方創生拠点整備交付金事業)の締結について	全会一致原案可決	総務建設常任委員会
議案第39号 三郷町道路線の廃止について	全会一致原案可決	総務建設常任委員会
議案第40号 三郷町道路線の認定について	全会一致原案可決	総務建設常任委員会
報告第3号 平成30年度三郷町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告受理	総務建設常任委員会 文教厚生常任委員会
報告第4号 平成30年度三郷町下水道事業会計予算繰越計算書について	報告受理	上下水道特別委員会
報告第5号 平成30年度三郷町水道事業会計予算繰越計算書について	報告受理	上下水道特別委員会
報告第6号 寄附の受け入れについて	報告受理	総務建設常任委員会
報告第7号 寄附の受け入れについて	報告受理	総務建設常任委員会
発議第3号 10月からの消費税10%への増税中止を求める意見書	賛成少数原案否決	総務建設常任委員会
発議第4号 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書	賛成少数原案否決	総務建設常任委員会

ホタリーナガーデンのホタルの様子

「童謡のまち」三郷町
SANGO TOWN, NARA

議会のうごき

6月

- 7日 第2回定例会本会議
- 10日 文教厚生常任委員会
- 11日 上下水道特別委員会
- 12日 総務建設常任委員会
- 14日 全員協議会・本会議
- 18日 上下水道事業会計決算審査
- 25日 例月現金出納検査

7月

- 5日 王寺周辺広域市町村圏議長会
- 13日 差別をなくす町民集会
- 25日 例月現金出納検査
- 31日 奈良県民集会

編集後記

地球環境の保護が、政治における大きな課題となつて久しいですが、最近にわかにプラスチックの問題が大きく取り上げられるようになりました。

私たちにとても身近なプラスチック。私も家庭で廃プラスチックの分別をしていると、毎週プラスチックごみが大量に発生していることに驚かされます。

このプラスチックが、海洋へ流れ出し、細かくなると、海の生き物に重大な影響を及ぼすマイクロプラスチックとなるといふのです。

この記事の執筆時に開催中のG20でも、この海洋プラスチックが大きな議題となるといいます。地球環境の保護は、日本だけで取り組んでも解決できず、大きな枠組みでの世界的な協働が必要となります。

しかし、一方でまた不可欠なのが、具体的な一人一人の意識と行動です。

三郷町も、地球環境を思う一員として、環境未来都市宣言を行い様々な取り組みを始めています。皆さんも、いつもの生活をちょっと見直して、地球にecoと(えーこと)始めませんか？

(木)